

CMI 株式会社

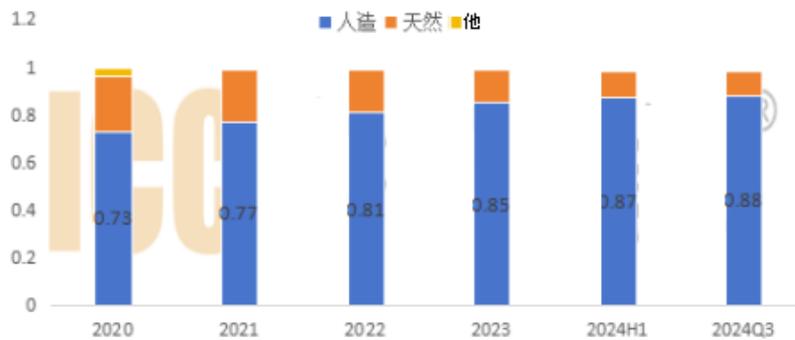
横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL: 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

第3四半期 中国の負極材料生産

ICC 資訊によると、2024年第3四半期、中国のリチウムイオン電池の生産量は326 GWhで、前年同期より約26%増加した。リチウムイオン電池に向けた負極材料の生産量は54万4,000トンで、世界の98.6%を占め、過去最高となった。

材料別に見ると、人造黒鉛負極材料が主流であり、市場を占める割合は絶えず上昇し続けている。今年第3四半期、約88%に達し、過去最高となった。

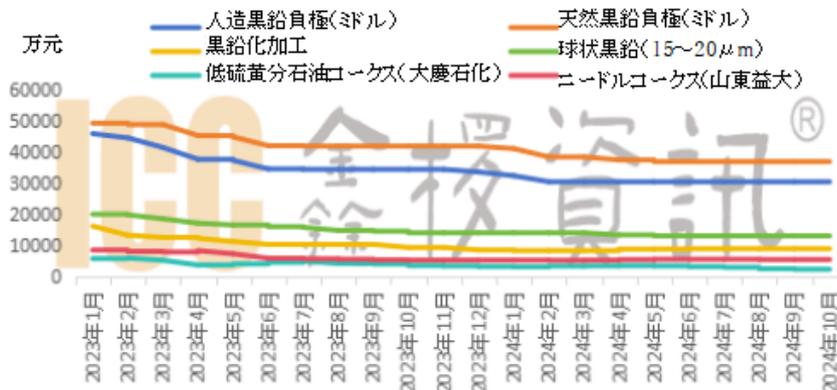


出典：ICC 資訊

図1. 材料別負極材料市場占有率の推移（2020年~2024年）

ICC 資訊の統計によると、今年第3四半期の人造黒鉛負極材料の総生産量は約49万トンであった。そのうち、上海杉杉科技有限会社は高度な技術力を有して、市場シェア21%でトップランナーとなった。

人造黒鉛負極材料は年初の低価格から小幅に上昇した後、比較的安定した価格で推移していた。



出典：ICC 資訊

図2. 負極材料と原料価格の推移（2023年1月~2024年10月）

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20～3,301

TEL: 045～717～8575 FAX: 045～717～8683

市場全体で見ると、リチウムイオン電池用負極材料の価格は底を打ち、今後さらに低下する可能性が低いと予測されている。

第4四半期の市場は緩やかに回復する中、負極材料の生産量は増加し、年間総生産量は約210万トンになるだろうと見込まれている。

情報源：ICC 資訊